

「視野を広げて」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力、他者とかわる力

単元について

○単元観

本単元は、第3学年「B 読むこと」の指導事項「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現の工夫に注意して読むこと。」「イ 文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。」および「C 書くこと」の指導事項「ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。」「イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。」に関連する単元である。「月の起源を探る」は、科学における仮説検証のプロセスに焦点を当てた説明的文章である。事実に基づいて論理的に判断していく科学的態度がよくあらわれている。また、説明の順序、図表や語句の使い方、小見出しの付け方など、さまざまな工夫が凝らされており、筆者の論理的展開の仕方をとらえることができる教材である。「文章の形態を選んで書く」「魅力的な紙面を作ろう」は、文章の形態の特徴を知りそれを踏まえて、伝えたい内容によって魅力的な紙面をつくるにはどうすればよいのかを考え、実際に書く学習を行う教材である。また「『思いのりレー』に加わろう」は、誰もが気軽に情報発信できる時代である昨今、情報発信の持つ意味を考えるのにふさわしい教材である。

○生徒観

本学年の生徒は、昨年度の広島県「基礎・基本」定着状況調査の、タイプⅡ五2「情報の取り出しと根拠を明確にした記述問題」において、通過率45.3%（無回答4.9%）、本年度の全国学力・学習状況調査（自校採点）の、国語B①三「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」問題において、正答率46.9%（無回答12.5%）、③三「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」問題において、正答率34.4%（無回答12.5%）であった。しかし、定期テストでの根拠をあげてルロイ修道士の人物像を答える問題では、正答および準正答が91.1%（無回答3%）だった。この結果からもわかるように、既習の問題では、根拠をあげることはできるが、初めての問題やデータを読み取って、根拠をあげて書くことは難しいと考えられる。さらに、初めての問題やデータを読み取る問題、長文を記述する問題では、解答することを諦める生徒もいる。

○指導観

指導にあたっては、主体的な学びとなるよう、生徒が必然性を感じることでできるような課題設定を工夫する。そこから生徒は、必要な情報を取捨選択し、既習事項をもとに課題を解決していく活動を行う中で、思考力・判断力・表現力の向上を図る。さらに、個人で解決が難しい課題や支援が必要な場面では、学習班（4人班）をつくり、共同して課題に取り組ませるようにする。また、特に進度が遅れがちな生徒に対しては、机間指導などで、個に応じた指導を行う。本学年の生徒は、今までに学習班を使った学習で、教え合い学習の経験があり、学習班での学習には抵抗がない。学習班を使うことで、自分の考えに自信のない生徒も意見が出しやすく、より多くの意見を吸い上げることが可能になると考える。

「月の起源を探る」では、説明の順序、図表や語句の使い方、小見出しの付け方などの工夫に気付かせ、読む力を高めるとともに表現や内容に関する自分の考えを持たせたい。また、ツールミンモデルを使い、どのようなデータでどのような理由付けをし、筆者が考察しているか分析する中で根拠をあげて書くことの必要性を学ばせたい。「文章の形態を選んで書く」「魅力的な紙面を作ろう」では、内容にふさわしい文章の形態を選択して文章を書く力を身に付けさせたい。「『思いのりレー』に加わろう」では、誰でもが情報発信者になりうる社会の中で、情報社会におけるコミュニケーションのあり方を考えさせるとともに、ソーシャルメディアでは、思考力・判断力・表現力の総合としての情報発信が求められることも、合わせて押さえたい。

単元 の 目 標

- (1) 課題について、意見や根拠を明確にしなが、主体的に取り組もうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 表現の工夫に注意して内容を読み取ることができる。(読むこと ア)
- (3) 文章の論理の展開の仕方をとらえることができる。(読むこと イ)
- (4) 課題を決め、文章の形態を選択して適切な構成を工夫することができる。(書くこと ア)
- (5) 資料を適切に引用して、説得力のある文章を書くことができる。(書くこと イ)
- (6) 和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ)

単元 の 評 価 規 準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 読む能力	エ 言語についての知識・理解・技能
①課題について、意見や根拠を明確にしなが、主体的に取り組もうとしている。	①課題を決め、文章の形態を選択して適切な構成を工夫することができる。 ②資料を適切に引用して説得力のある文章を書いている。	①説明の順序や図、小見出し、語句の用い方などの表現の工夫に着目し内容を読み取っている。 ②筆者の論理展開をとらえ、内容をとらえている。	①和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語彙を豊かにできている。

資 質 ・ 能 力 と 評 価 の 観 点 と の か か わ り

本校の育てようとする資質・能力				評価の観点			
				関	書	読	伝
知識							○
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①学習したことを使って、自分の考えをまとめる力 ②根拠をもとに、正しい判断をする力 ③よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 ④自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力		○	○	
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら考え、判断し、行動する力	○			
価値観倫理観	他者とのかかわる力	他	①他者と協力（協働）して、課題を解決しようとする力 ②他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりする力		○		
	社会貢献力	社	①地域のよりよい社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力				
	自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力				

Ⅰ 学習内容とⅡ学習活動、Ⅲ単元として育てたい資質・能力のつながり

Ⅰ「城北中学校紹介紙」を作成する学習で、Ⅱ資料や語句の使い方、データの活用の仕方、小見出しの付け方など相手にわかりやすい工夫をし、実際に発信していく中で、Ⅲ情報を整理・分析し、自らの考えをまとめ、自分の考えを相手が納得できるようわかりやすく伝える力を育てる。

単元の終末におけるパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
あなたはジャーナリスト（情報の発信者）です。「城北中学校紹介紙」を作成し、城北中学校にたくさん入学してくれるように小学生に向けて、城北中学校をPRしましょう。	A	伝えたい内容と目的を明確にし、資料を適切に引用し、魅力ある紙面の構成を考え紹介紙を作成するとともに、ふさわしいメディアを選び発信している。
	B	伝えたい内容と目的を明確にし、資料を適切に引用し、紙面の構成を考え紹介紙を作成している。
	C	伝えたい内容と目的を明確にし、紹介紙を作成している。

指導と評価の計画

時	学習過程	学習内容	評 価				評価規準 (評価方法)	◇資質・能力育成場面 【資質・能力】 ◆資質・能力評価場面 【資質・能力】 (評価方法)
			関	書	読	伝		
1	課題の設定	・これからの活動の見通しを持つ。 伝えたい内容がよく伝わり、魅力的な文章を書くためにどのような工夫をすればよいか考える。	○				ア-① (発言内容)	◇課題について、意見や根拠を明確にしながら、主体的に取り組もうとしている。【主-①】
2	情報の収集	・「月の起源を探る」の文章構成や文章と図の対応について確認し、筆者の説明の工夫をとらえ、内容を読み取る。			○		ウ-① (ワークシート)	◇情報を整理分析し表現の工夫をとらえ内容を把握している。【思-①】
3		・「月の起源を探る」の筆者の論理の展開の仕方をとらえる。 【本時】			○		ウ-② (ワークシート)	◇筆者の論理展開をとらえている。 【思-①】
4		・「文章の形態を選んで書く」を読み文章の形態の特徴を知る。	○				イ-① (ワークシート)	◇文章の形態を選択し、適切に書いている。 【思-④】
5		・「和語・漢語・外来語」について、語の成り立ちや特徴を理解し、相手や場面に応じて適切に使い分ける。			○		エ-① (国語の学習)	
6	整理・分析	・「魅力的な紙面を作ろう」学習をもとに魅力的な紙面づくりをするために、必要なものはなにか、学習班で考える。			○		イ-② (ワークシート)	◇魅力的な紙面を作るために必要なことを学習班で考えている。 【思-④】 【他-①】
7	創造・まとめ・表現	・「城北中学校紹介紙」の作成			○		イ-① イ-② (ワークシート)	◇小学生にわかりやすく城北をPRする文章を書いている。【思-④】 ◆【思-①④】 (ワークシート)
8	実行	・「城北中学校紹介紙」を交流 ・城北中学校区の小学校に城北の紹介紙をもとに城北中のよさをPRする。			○		イ-① イ-② (ワークシート)	◆【他-①】 (ワークシート)
9	振り返り	・「『思いのリレー』に加わろう」を読み、より効果的に、PRするためには、どのようなメディアを使うとよいか考える。	○				ア-① (発言内容) (振り返りシート)	◆【主-①】 (発表) (振り返りシート)

本時の学習

- (1) 本時の目標
筆者の主張を支える根拠について、主張とのつながりや説得力を持たせるための効果的な説明の順番に気付き、自分の考えを持たせる。
- (2) 準備物
ワークシート 実物投影機
- (3) 学習展開 (3限目/9)

情報の収集

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】
導入 (5分)	【本時のめあて】 筆者の主張を支える根拠について、説得力を持たせるための効果的な工夫に気付き、自分の考えを持つ。		
	1 めあての記入 2 漢字テスト (K)…くり返し挑戦する) 3 前時の学習のふりかえり		
	4 筆者の主張に関する事実・データ等がどのような関係性を持つてつながっているかを説明する。 ・データの内容 ・複数の事例や仮説を説明する順番など 5 「月の起源を探る」の論理の展開をとらえる。 (J)…じっくり考える) (H)…はっきり表現する)	○簡単な例で考えさせる。 <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[事実 データ] --> B[主張] C[理由付け] --> A </pre> </div> ○筆者の考察を「主張」ととらえるとき、「データ」は何か、そのデータから主張を導き出す根拠になる部分を読み取らせる。 ○説明の順番、展開の仕方の工夫が筆者の主張にどのような説得力を持たせているかを班で交流させる。 個人思考→学習班 ○各班で発表する。 読み取った根拠が筆者の主張をどのように支えているか全体で交流させる。	ウー② 筆者の論理展開をとらえ、内容をとらえている。 (ワークシート) ◇筆者の論理展開をとらえている。 【思-①】
まとめ (5分)	6 筆者の主張を支える根拠が、どのような工夫で説得力を持って伝えられているのかをまとめる。 7 振り返りの記入 8 次時の予告	○本時で読み取ったことを「城北中学校紹介紙」を書く時に活用することを押さえる。	